

10 家庭

科目名	子どもの発達と保育	単位数	4単位	学年	第3学年	科	総合生活科
						コース	健康科学・生活文化
使用教科書	実教出版「子どもの発達と保育」新訂版			副教材		教科書準拠「子どもの発達と保育」 新訂版 学習ノート	

学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

学習計画

	月	単元		学習内容及びねらい
一 学 期	4	子どもの発達と保育を学ぶにあたって 第1章 子どもの発達の特性	製 作 ↓	※保育の学習を始めるにあたり保育を学ぶ意味を理解する。 第1章では，乳幼児期が人間の発達の基礎を培う大切な時期であることを理解し，健全な発達には「環境」が大切であることを学ぶ。 また，発達観や児童観について社会的背景とあわせて理解する。 ○座学と同時進行で布絵本製作を行う。
	5	第2章 子どもの発達過程		第2章では，子どもの発達をとらえるための重要な側面を知り，誕生から幼児期までの子どもの身体発育，運動機能，認知機能，情緒，人間関係（愛着の重要性）などの発達過程を取り扱い，発達には，順序性や連続性があることを理解する。
	6	※保育園訪問		※保育園訪問では子どもとの触れ合いを通して保育について学ぶ。
	7	第3章 子どもの生活 ※保育技術検定3級（全員） ・造形表現技術 ・言語表現技術 ・家庭看護技術 ・音楽・リズム表現技術		第3章では，乳幼児の生活の特徴と適切な養護のあり方，生活習慣の形成，生活環境の整備，健康管理と事故防止などについて取り扱い，乳幼児の発育・発達を促すための望ましい生活について具体的な事例をあげて理解する。 ※保育技術検定3級の合格を目指す。
二 学 期	9			
	10	※保育技術検定2級（希望者）		※保育技術検定2級の合格を目指す。
	11	第4章 子どもの保育 ※調整粉乳・離乳食（市販）を試飲・試食してみよう		第4章では子どもの発達を促すための保育の必要性と意義を理解し，保育の目標に応じた基本的な保育技術を身に付ける。 家庭や幼稚園，保育所及び認定こども園などの保育の場をとりあげ，それぞれの保育環境の特徴と役割について理解する。よりよい環境構成のためには，家庭生活との連続性が重要であることを理解する。
	12	※調理実習（幼児用おやつ） ※子どものおもちゃ製作		
三 学 期	1	第5章 子どもの福祉 ※スタイ製作		第5章では児童福祉の理念や関係法規と制度について理解させるとともに，近年の子育て支援の考え方と施策について理解する。
	2			※各製作や実習・体験では，実践的・体験的学習を通して保育（子どもの育ち）について理解する。
	3	※適宜，視聴覚教材を活用し学習の確認を行う。		

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・製作課題の完成度・授業態度などを総合的に評価する。